



中井町

まち・ひと・しごと創生

総合戦略

(案)

平成28年2月

目次

1、基本的な考え方	2
1-1 総合戦略について	2
1-2 取組の考え方	3
1-3 総合戦略の対象期間とマネジメント	3
2、中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略	5
2-1 中井町まち・ひと・しごと総合戦略の概要	5
基本的戦略1	
「里まちブランド・里まち「耕業」による地域経済活性化戦略	6
① 基本目標	6
② 基本的方向性	6
③ プロジェクト	7
基本的戦略2	
「里まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略」	9
① 基本目標	9
② 基本的方向性	9
③ プロジェクト	10
基本的戦略3	
「里まち子育て応援戦略」	12
① 基本目標	12
② 基本的方向性	12
③ プロジェクト	13
基本的戦略4	
「里まち総合プロデュース戦略」	15
① 基本目標	15
② 基本的方向性	15
③ プロジェクト	16

1、基本的な考え方

1-1 総合戦略について

中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「中井町総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法第10条（※1）に基づいて、併行して策定する「中井町人口ビジョン」を踏まえ、国が定める総合戦略及び県が定める総合戦略を勘案して定めるものです。

中井町総合戦略の策定にあたっては、国が示す「まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則（※2）」に対応した施策を位置づけるものです。

※1：まち・ひと・しごと創生法

（市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略）

第十条 市町村（特別区を含む。以下この条において同じ。）は、まち・ひと・しごと創生総合戦略（都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略が定められているときは、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略）を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画（次項及び第三項において「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」という。）を定めるよう努めなければならない。

※2：まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

人口減少克服・地方創生を実現するため、5つの政策原則に基づき施策を展開する。

- ① 自立性 ・ 構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。
- ② 将来性 ・ 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。
- ③ 地域性 ・ 各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。
- ④ 直接性 ・ 最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。
- ⑤ 結果重視 ・ PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

1-2 取組の考え方

中井町総合戦略は、人口ビジョンを踏まえ次のような考え方に基づいて策定しました。

① 若いファミリー世帯による活気を創出する

少子化高齢化が進む中井町では、人口の減少幅を抑制し、また人口の年齢構成のバランスの改善を目指す必要があります。そのために、20歳代から30歳代のファミリー世帯の転出を抑制し、転入を促進するために若い世帯に支持される施策を講じ活気を創出します。

② 里山など自然環境の魅力を際立たせる

中井町は、東名高速道路秦野中井インターチェンジがある町として交通条件に恵まれている一方で、里山など豊かで身近な自然環境を有し、町民も企業もその恩恵を享受しながら生活しています。このような自然がもたらす魅力を一層際立たせることにより「豊かな中井ライフ」を創造します。

③ 協働とチャレンジによる活力づくり

中井町では、農業では多様な農作物が生産され、新しい農家も生まれています。また町には多様な企業、事業所が進出していますが、必ずしも町民と企業・事業所の連携が図られていません。そこで、農家などの住民と町内の企業・事業所との協働（コラボレーション）により新しいチャレンジが生まれるようにします。

1-3 総合戦略の対象期間とマネジメント

中井町総合戦略の実効性を高めるとともに、適切で柔軟な進行管理を行うために、数値目標の設定、第三者機関による客観的な効果検証、円滑なPDCAサイクルの実施を行います。

① 対象期間

中井町総合戦略の対象期間は、平成27年度から平成31年度の5カ年とします。この中井町総合戦略は、中井町総合計画との調整を図りながら実施しますが、国からの財政的支援の状況、県との調整、施策の効果検証等を勘案しながら必要な見直しを行うこととします。

② 数値目標の設定

実現すべき成果に係る数値目標を設定します。また、具体的な施策については、客観的な重要業績評価指標（K P I 又はK G I ※3）を設定します。これにより実施状況や施策の実施状況が検証しやすくなります。

③ 検証機関

中井町総合戦略の策定にあたって設置した「なかい戦略みらい会議」に検証機関を設け、検証と中井町総合戦略の見直しの提言ができるようにします。

④ 円滑なP D C Aサイクルの実施

以上の措置によりP D C Aサイクル（※4）を通して、中井町総合戦略の検証から改訂にいたる一連のサイクルが適切に行われるようにします。

※3：K P I，K G I

K P I（重要業績評価指標）：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

K G I（重要目標達成指標）：施策ごとの目標（ゴール）に対する達成度合いを定量的に示す指標

※4：P D C Aサイクル

計画に基づいて施策を実施し、実施した施策の検証を行い、検証結果に基づいて計画を見直し改訂する一連のサイクル

Plan:計画

Do:施策の実施

Check:検証

Action:見直し、改訂

2、中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略

2-1 中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

基本的戦略	プロジェクト	施策
基本的戦略1 里まちブランド・里まち「耕業」による地域経済活性化戦略	プロジェクト1 【里まちブランドプロジェクト】	○里まちブランド特産品開発事業 ○里まちブランド流通マーケティング事業
	プロジェクト2 【里まち「耕業」プロジェクト】	○「起農・創農者」支援事業 ○起業・NPO等設立支援事業
基本的戦略2 里まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略	プロジェクト1 【里まちスポーツ・プチツーリズムプロジェクト】	○里まちスポーツ交流人口増加事業 ○里まちスポーツ・プチツーリズム事業 ○里まちスポーツのまち事業
	プロジェクト2 【里まち情報の駅プロジェクト】	○Wi-Fiスポット設置事業 ○情報コンテンツ等開発支援事業 ○プチ田舎だけど便利なまち定住支援事業
基本的戦略3 里まち子育て応援戦略	プロジェクト1 【里まちネウボラプロジェクト】	○保育料・給食費助成事業 ○切れ目のない相談・情報発信事業 ○里まち子ども居場所づくり事業 ○多様な雇用形態の創出支援事業
	プロジェクト2 【里まちふるさと回帰プロジェクト】	○三世代家族推進事業 ○里まちくらし応援隊事業
基本的戦略4 里まち総合プロデュース戦略	プロジェクト1 【里まちプロモーションプロジェクト】	○里まちプロモーション事業 ○里まち暮らしの質向上事業 ○里まち好循環のまち事業
	プロジェクト2 【里まちコンパクトプロジェクト】	○中心拠点・小さな拠点形成事業 ○交通ネットワーク形成事業

国の政策分野 I 地方における安定した雇用を創出する

基本的戦略 1 「里まちブランド・里まち「耕業」による地域経済活性化戦略」

① 基本目標

中井町には、豊かな自然環境の中で農業が営まれ、環境と調和して工業団地があります。この農業と町民のアイデアやグリーンテクなかい等に進出する企業等の力と連携して地域の経済力を向上させます。

項目	目標値 (H31)	基準値
新規起業者数	新規起業者数 5 社	現況 0 社
新規就農者数	新規就農者数 10 戸	現況 4 戸

② 基本的方向性

- ブランド特産品開発をつうじて地域経済を活性化し、新たな雇用を創出するとともに、里山に象徴される豊かな自然の恩恵（労働環境・生活環境）を自然環境の保全や自然と共生し持続性ある豊かな暮らしに還元する仕組みを構築します。
- 里まちブランドプロジェクトと連動し、新たな仕事づくり（耕業）として新規就農や起業を促進します。

③プロジェクト

プロジェクト1【里まちブランドプロジェクト】

- 地元の農産物を特産品としてブランド化し、ブランド化した地元特産品の全国展開に向けた流通販路を確保し、マーケットを拡大します。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○里まちブランド特産品開発事業</p> <p>農商工・住民が連携して、町内の農産物等を活用した特産品を企業・大学と連携して創出し、「里まちブランド」として確立し、商品化を図ります。</p>	<p>◆認定品目</p> <p>品目数：10品目</p>	<p><主な主体></p> <p>農家、企業、大学、町民、町</p>
<p>○里まちブランド流通マーケティング事業</p> <p>里まちブランドの、町内社員食堂での提供、農産物直売所などでの販売などを皮切りに、全国展開に向けた流通販路を確保し、新しいマーケットの開拓・ビジネス展開を目指します。</p>	<p>◆里まちブランド販売施設</p> <p>施設数：3施設</p>	<p><主な主体></p> <p>農家、企業、大学、町</p>

プロジェクト2【里まち「耕業」プロジェクト】

- 町内外の若者・シニア層を対象とした新規就農希望者を支援します。また、企業、金融機関等と連携して起業、創業、在宅ワーク等に対する支援を行います。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○「起農・創農者」支援事業</p> <p>農業の担い手の確保・育成を図るため、作業小屋の提供とともに農業機械の貸し出しや営農指導等の支援を行います。</p> <p>また、遊休農地等を活用し、農家が主導しながら新規就農希望者への野菜、果樹、酪農、花卉等の農業体験を実施します。</p>	<p>◆新規就農者</p> <p>新規就農者：10戸</p>	<p><主な主体></p> <p>農家、企業、町</p>
<p>○起業・NPO等設立支援事業</p> <p>起業、創業等希望者に対し専門家による起業セミナーを、地元企業と連携して継続的に開催します。</p> <p>また、町内の空き家等を活用した事務所や店舗の開設を支援します。</p>	<p>◆新規起業者</p> <p>新規起業者：5社</p>	<p><主な主体></p> <p>企業、金融機関、商工会、町</p>

国の政策分野Ⅱ 地方への新しいひとの流れをつくる

基本的戦略2 「里まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略」

① 基本目標

里山などの自然力と美しい景観の中でスポーツができる中央公園、ジョギングや散策ができるネットワーク、子どもからお年寄りまで楽しめる公園は町の財産です。町で暮らす町民はすべて中井の宝です。この財産や宝を活かして企業や研究機関と町民が連携して交流人口と定住人口の増加を促進します。

項目	目標値 (H31)	基準値
交流人口	100,000 人	現況 83,000 人
転入者	440 人	現況 384 人

② 基本的方向性

- スポーツ環境に優れた町の特長を活かし、町民・地元企業・隣接大学と連携し、スポーツをつうじた交流人口を増加させ、健康とスポーツのまちづくりを進めます。
- 公共交通不便さの代わりに情報通信機能と情報コンテンツを向上させることにより、観光・スポーツ・災害時対応などを充実させて交流を促進し、在宅勤務などのライフスタイルを提案することで定住の促進を図ります。

③ プロジェクト

プロジェクト1【里まちスポーツ・プチツーリズムプロジェクト】

- 中井町特有のスポーツ環境を活かした里まちスポーツの展開により、交流人口の増加を目指します。さらに、スポーツをする・見る・味わう・支えることなどによる交流をプチツーリズムとして展開します。
- 「未病を治す」県西地域活性化プロジェクトとの連携により、地域活性化・観光振興に取り組みます。
- 誰でもスポーツが楽しめる健康増進のまちとして中井町のまちづくりを進め、PRしていきます。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○里まちスポーツ交流人口増加事業 中井町特有のスポーツ環境を活かし、ジョギングコースの整備、交流試合、スポーツ関連イベント、ゴルフ場の活用などの取り組みを行い、町内外の住民・企業・大学の交流を促進します。 さらに、近隣大学・中井中央公園指定管理者等によるスポーツ教室の開催、練習場の提供によりスポーツ交流を促進します。</p>	<p>◆スポーツ関連イベント参加者数 人数：1,500人／年</p>	<p><主な主体> 大学、企業、町</p>
<p>○里まちスポーツ・プチツーリズム事業 企業・大学との連携による健康や体力向上の見える化の実施や、「未病を治す」県西地域活性化プロジェクトとの連携による、おもてなし型スポーツツーリズムや四季折々の里山の自然に触れるレクリエーション型スポーツツーリズムを実施します。</p>	<p>◆未病センター利用者数 利用者数：1,000人／年</p>	<p><主な主体> 企業、大学、町</p>
<p>○里まちスポーツのまち事業 子どもから高齢者までの幅広いスポーツ振興をつうじて、健康で快適なまち、合宿所や休憩所を提供するなど企業と連携したアスリートとの交流や生涯スポーツの促進など、町なかで日常的にスポーツが実施されている、誰でもスポーツが楽しめる健康増進のまちとして中井町のまちづくりを進め、PRしていきます。</p>	<p>◆スポーツ実施率 実施率：50%</p>	<p><主な主体> 町民、企業、町</p>

プロジェクト2【里まち情報の駅プロジェクト】

- 町内の拠点に Wi-Fi スポットを設置し、観光・スポーツなどの交流に活用します。
また、里まちブランド・スポーツなどの地域情報を発信する情報コンテンツの開発を支援します。
- 情報インフラの整備により、在宅勤務や週末移住などのライフスタイルを提案し定住促進につなげていきます。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○Wi-Fi スポット設置事業 町内に整備したケーブルテレビ網を利用し、いつでもだれでも手軽に超高速ネットワークにアクセスできる環境を整備することを目的に役場庁舎をはじめとする町内の拠点に Wi-Fi スポットを設置します。 この整備により、住民の方をはじめ来町される観光客などの利便性向上を図ります。 また、災害時には通信手段を確保します。</p>	<p>◆Wi-Fi スポット設置数 設置数：9 か所</p>	<主な主体> 企業、町
<p>○情報コンテンツ等開発支援事業 企業や大学等の協力を得ながら、里まちブランド・スポーツなどの地域情報を発信する情報コンテンツの開発を支援します。 情報の更新は、町内の NPO 団体が担うなど運営体制を視野に入れた事業展開を図ります。</p>	<p>◆コンテンツ閲覧回数 延べ回数：50,000 回 (累計)</p>	<主な主体> 企業、大学、町
<p>○プチ田舎だけど便利なまち定住支援事業 企業との連携により、各家庭や事業所にインターネットを整備することにより、情報インフラの充実による里山環境に囲まれた在宅勤務や週末移住などのライフスタイルを提案し、定住を促進します。</p>	<p>◆インターネット接続率 接続率：80%</p>	<主な主体> 企業、町

国の政策分野Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的戦略3 「里まち子育て応援戦略」

① 基本目標

身近な自然と暖かい地域コミュニティが中井町にはあります。その特性を活かすとともに、安心して子どもを産み育てるために経済的支援を行うことにより、合計特殊出生率をあげるとともに、子どもたちを増やします。

項目	目標値 (H31)	基準値
エビノ 中井町	1.5	現況 1.21 /年

② 基本的方向性

- 子育てに係る経済的負担の軽減・一貫した相談体制・居場所づくり・雇用環境の改善などをつうじて、妊娠・出産・子育て環境の充実を図り、子育て世代の増加を実現します。
- 町外へ転出した若年層を対象に、三世帯同居・近居・隣居の支援や連絡確保など、

③プロジェクト

プロジェクト1【里まちネウボラプロジェクト】

- 次代を担う子どもの成長と子育て家庭の経済的負担、妊娠・出産・子育てに対する包括的支援を行うなど、子育てファミリー世帯が、安心して子どもを産み育てられることができるように妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援を行います。
- 子育て環境を充実するために、子育て世代の多様な雇用環境づくりを促します。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○保育料・給食費助成事業 安心して子どもを産み育てられることができるように、町内の子どもの保育料助成と学校給食費の補助により、次代を担う子どもの成長と子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。</p>	<p>◆こども園、保育園、幼稚園の園児数増：3人 ◆小学校、中学校の児童生徒の転校数減：3人 ◆出生数の増：5人</p>	<主な主体> 町
<p>○切れ目のない相談・情報発信事業 子育て支援に係る情報や各種制度等を取りまとめたハンドブックを作成・提供し、子育て相談を継続して実施します。 また、関係機関と連携した総合的な相談・支援を行う場として「なかいネウボラ」を設置し、切れ目のない子育て支援を実現します。</p>	<p>◆里まちネウボラ設置数 設置数：1か所 ◆なかいネウボラ利用者数 利用者数：800人/年</p>	<主な主体> 町
<p>○里まち子ども居場所づくり事業 地域の小学生等を対象に、土日、放課後等に、多様なスポーツに親しむ・社会体験プログラムを大学、企業、町民と連携して実施し、子どもの居場所づくりを実現します。</p>	<p>◆プログラム実施回数：6回/月</p>	<主な主体> 町民、企業、大学、町
<p>○多様な雇用形態の創出支援事業 子育て環境の充実のために、地元企業への働きかけなどをつうじて、子育て世代の多様な雇用環境を提案し実現していきます。 これにより、企業イメージの向上とともに子育て世代の町内への転入増加を目指します。</p>	<p>◆実施企業企業数：1社</p>	<主な主体> 企業、町

プロジェクト2【里まちふるさと回帰プロジェクト】

- 町外へ転出した若年層を対象に、三世帯同居・近居・隣居の支援や連絡確保など、Uターンのきっかけづくりを行い、ふるさと中井町への回帰を実現します。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○三世帯家族推進事業 町内における三世帯同居を推進することで、子どもを安心して産み育てられ、高齢者等が安心して暮らせる健康で幸せな住環境をつくるため、住宅の購入、増改築・リフォーム等を行う方に、必要な費用の一部を支援します。 また、町内の空き家情報の提供やマッチングも併せて実施します。</p>	<p>◆助成件数 件数：3件／年</p>	<p><主な主体> 町</p>
<p>○里まち暮らし応援隊事業 町外に転出した若年層の町内へのUターンのきっかけづくりを行うために、転出しても中井町との関係が切れないように応援します。 また、ふるさと回帰イベントを実施するなど、ふるさと中井町への回帰を実現します。</p>	<p>◆里まち暮らし応援隊員数 隊員数：10人</p>	<p><主な主体> 町民、町</p>

国の政策分野Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

基本的戦略4 里まち総合プロセス戦略

①基本目標

中井は、里山など自然環境、東名高速道路秦野中井インターチェンジ、県道71号秦野二宮線など広域幹線道路の良さ、隣接する自治体にある医療機関や商業施設などの利便性を活かしきれていません。また、住宅地としては身近な自然に恵まれゆったりとした生活をする事ができます。この環境の良さを一層際立たせるとともに鉄道駅がない弱点を克服するため、利便性と知名度を向上させます。

項目	目標値 (H31)	基準値
利便性が向上したと感じている町民	80%	62%
中井町を推奨している町民	60%	41%

②基本的方向性

- 中井で豊かに暮らす「誇り」を再発見し、町のイメージアップ・町民のアイデンティティを向上させるためのシティプロモーションを行い、豊かに快適に安心して暮らせるまち中井を町内外にPRします。
- 役場周辺を中心拠点として整備するとともに、近隣生活圏での小さな拠点を整備・創出し、ネットワーク化することにより、安心して暮らせる地域や地域間連携などを実現するコンパクトなまちを形成します。

③プロジェクト

プロジェクト1【里まちプロモーションプロジェクト】

- 中井町の魅力と強みなどを活かしたシティセールスに向けたシティプロモーションを展開します。
- 交流人口が増加するほど暮らしの質も向上する好循環を生み出します。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
○里まちプロモーション事業 中井町ならではの魅力を活かし、知名度の向上・組合せによる展開・マグネット効果による集客力の向上などを総合的にプロデュースするシティプロモーションを大学・企業と連携しながら実施します。	◆中井町を推奨している町民 60%	<主な主体> 大学、企業、町
○里まち暮らしの質向上事業 中井町での暮らしの魅力を町民自身が再発見する中で、生活の質を向上させます。 こうした取り組みをつうじて、新たな魅力を創出するとともに、里まちの空間的魅力を再生し、生活実態に根ざした魅力向上を町民とともに創出します。	◆利便性が向上したとを感じる町民 80%	<主な主体> 町民、町
○里まち好循環のまち事業 各プロジェクトが好循環を生み出し、持続的な展開を運動的に継続していくことを目指します。	◆取材件数 12件/年	<主な主体> 町民、企業、大学、町

プロジェクト2【里まちコンパクトプロジェクト】

- 役場周辺の中心拠点と近隣生活圏での小さな拠点を整備・創出します。
- 拠点と拠点、町内外を連絡する交通ネットワークを形成します。

具体的な施策	重要業績評価指標	備考
<p>○中心拠点・小さな拠点形成事業 「中井中央公園」を含めた、役場周辺地区については、生活の利便性向上を図るために、バスターミナルの設置や商業施設を誘致するとともに、新たに住宅用地を設け、都心からの定住・移住を促進します。さらに、定住・移住者に対しては、現在後継者不足などにより使用されていない荒廃農地を整備し貸し出すことにより、滞在型市民農園などの整備促進に努めます。 また、町民協働による農家の軒先販売所、空き家等を活用したサロンなど小さな拠点を整備・創出します。</p>	<p>◆小さな拠点認定数 認定数：2か所</p>	<p><主な主体> 町民、町</p>
<p>○交通ネットワーク形成事業 交通弱者や買い物弱者などの移動をサポートする生活交通の充実、自転車によるまちづくりの推進など、福祉・産業・環境などの総合的な観点から、町民協働のもと進めていきます。</p>	<p>◆オンデマンドバス 利用者数 人数：7,000人／年 (平成29年度末)</p>	<p><主な主体> 町民、町</p>